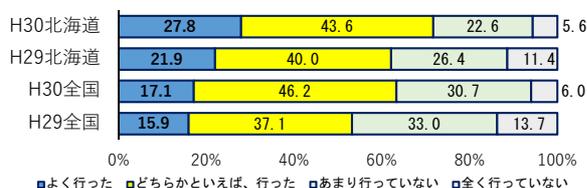


4 小学校と中学校が連携した取組の充実

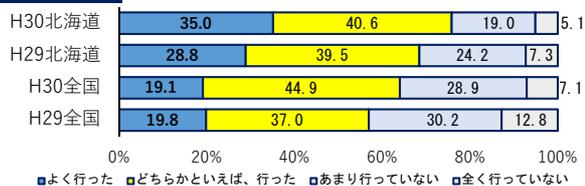
〔分析〕

「平成29年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校（小学校）と成果や課題を共有しましたか」（学校質問紙）

小学校

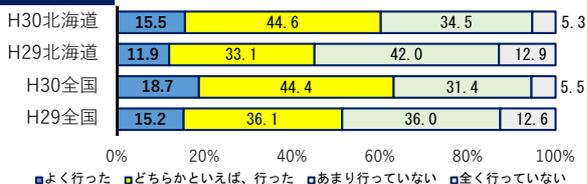


中学校

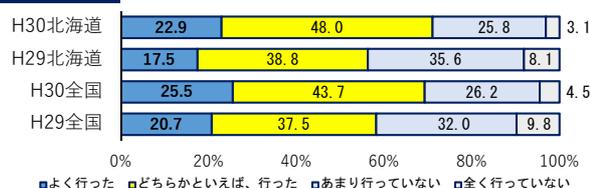


「近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか」（学校質問紙）

小学校

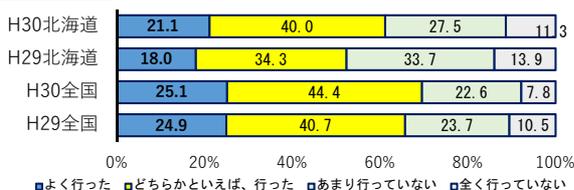


中学校

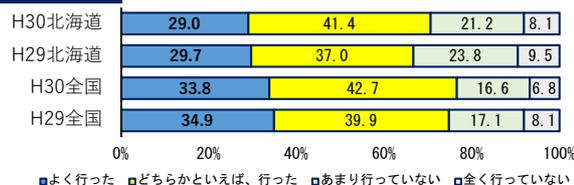


「近隣等の中学校（小学校）と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか」（学校質問紙）

小学校



中学校



〔成果と課題〕

- 平成29年度の学力調査の分析結果について、近隣等の中学校（小学校）と成果や課題を共有した学校の割合が、全国を上回るとともに、よく行った学校の割合が、昨年度と比べて高くなるなど、改善の状況が見られています。
- 近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組や、授業研究を行うなど、合同した研修をよく行った学校の割合が、昨年度と比べて高くなっているものの、全国を下回るなど、小学校と中学校の連携した取組が十分に行われていない状況が見られます。

〔改善の方向性〕

- ◇ 学校運営協議会や地域学校協働本部等の各種会議の合同開催を通じて、各学校で育成を目指す資質・能力や教育目標、それらに基づく教育課程編成の基本方針などを、学校保護者、地域間で共有して改善を図ることが大切です。
- ◇ 校長・副校長・教頭の管理職の間で、各学校で育成を目指す資質・能力や教育目標、それらに基づく教育課程編成の基本方針などを共有し、改善を図ることが大切です。
- ◆ 地域の小・中学校の合同研修会を開催し、地域で「目指す子ども像」を検討しながら、学校のグランドデザインの策定や教育課程の改善に取り組むなど、小中が連携した取組を進めることが大切です。



◆の改善の方向性に関する事例を紹介しています。 P25

小中9年間の系統性を踏まえた指導計画の改善

ポイント 小中の系統性を踏まえ9年間を通じた指導計画を作成し、授業で活用しています。

〔算数・数学カリキュラム（領域別具体編）〕

<p>小学校6年 対称な図形</p> <p>点Oが対称の中心</p> <p>Point 線対称では、対称の軸が対応する2つの点を結ぶ直線を垂直に等分する。 点対称では、対応する2つの点を結ぶ直線は、対称に中心を通り、等分する。</p>	<p>小学校6年 拡大図と縮図</p> <p>Point 対応する角の大きさが等しく、対応する辺の長さの比が等しくなるようにもとの図を大きくした図を拡大図といい、小さくした図を縮図という。</p>
---	--



日常の授業での活用

<p>中学校1年 図形の移動</p> <p>Point 回転運動では、対応する点は、回転の中心から等しい距離にあり、対応する点と回転の中心を結んでできる角の大きさは等しい。</p>	<p>中学校2年 三角形の合同条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 3組の辺がそれぞれ等しい 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい <p>$\triangle ABC \equiv \triangle A'B'C'$</p> <p>多角形の合同を表すときに記号$\equiv$を使う。その際に、対応する頂点や辺、角に注意する。</p> <p>Point 合同条件も位置によっては、何通りの三角形が存在するので、具体例を示し定着を図る。</p>
--	---

指導計画をより使いやすく、小学校と中学校とのつながりが分かるよう、図と指導する際のポイントを記述した「算数・数学カリキュラム（領域別具体編）」を作成し、日常の授業等で活用します。

教師が授業をイメージしやすいよう、視覚的に捉えやすい図と指導のポイントを示したカリキュラムを作成しています。

日常の授業をはじめ、小中相互の乗り入れ指導における事前の準備や既習内容の確認、指導案の作成等にも活用することができます。

小中一貫した教育目標の設定に向けた合同研修

ポイント 各種アンケート結果などを踏まえ、小中一貫した教育目標の設定に向け、小学校と中学校との合同による研修を行っています。

事前の準備

保護者・教職員向けアンケート結果の分析

- ・町内3小学校、1中学校による「小中一貫教育準備委員会」を設置
- ・学力向上、道徳教育、体力向上、郷土愛に関する保護者及び教職員アンケートを実施
- ・アンケート結果をまとめ各校の教育目標との関連性を踏まえた分析

小中合同研修会

目指す子ども像の設定

- 低学年期、中学年期、高学年期、中学生期の区切りに応じて「目指す子ども像」の設定
- ・アンケート結果をもとに子どもの長所や課題について交流
- ・各校の教育目標との関連性を踏まえたグループ協議
- ・「目指す子ども像」の具体を全体協議

事後の取組

グランドデザインの作成

- 小中一貫した教育目標や「目指す子ども像」、重点推進事項、数値化した目標指標などを明確にしたグランドデザインの策定

学力向上、家庭学習、生活習慣に関する目標指数の設定には、全国学力・学習状況調査の結果をもとに設定

「小中一貫教育準備委員会」において、小中一貫した取組に関する教職員中間評価アンケートを実施したり、小中相互の乗り入れ指導について児童生徒を対象としたアンケートを実施したりするなど、効果的に取組の検証改善を行っています。